

関連項目：教育活動プラン④

「にっこりえしゃく大キャンペーン」の実践

目的

校内で出会う先生やお客さんに「笑顔で・えしゃくをしながら」あいさつをすることで、あいさつの意義やすばらしさを実感し、人とつながる喜びを味わうことができること。

内容

● キャンペーンを実施した経緯

朝のあいさつ運動「おはよう南っ子！」を昨年度からスタートし、生活委員会の児童を中心に組みこんできた。集団登校してから教室にかばんを置き、学年団ごとの場所に分かれてあいさつをしている。毎週月・火・金の3日間取り組んでいるが、毎回100人以上の児童が参加するなど、「木太南小学校の伝統にしていこう！」という思いが少しずつ生まれてきている。7月に行った学校評価で教職員から「全校生があいさつをする機会があってもよい。」「廊下歩行が少しでも定着できるよう、具体的な方法を取り入れてはどうか。」という意見があった。そこで、キャンペーン期間をもち、全校生が朝あいさつをすることとともに廊下で出会った先生やお客さんにえしゃくをする「にっこりえしゃく大キャンペーン！」を提案することとなった。

● キャンペーンまでの流れ

まず、9月5日の生徒指導委員会で提案し、意見集約をした。その後代表委員会で、生活委員会の委員長が提案し、全校生に協力を呼びかけた。9月26日の職員会議で職員に提案し、共通理解をしてから、生活委員会で準備を進めた。ポスターを作ったり、テレビ朝会や全校放送で「あいさつの意義」や「すばらしさ」を周知していった。各学年団でも、「道徳の日」と関連させて、心のノートを使いながら事前指導を行った。

● キャンペーン期間中 ～児童の活動の広がり～

今回のキャンペーンは、教職員が共通理解していたこと、生活委員会の児童から代表委員会で提案していたこともあり、全校あげて意識を高めることができた。事前指導を心のノートと関連させてしていたこともあり、キャンペーン期間前から廊下で会釈をしたり、朝自主的に「おはよう南っ子！」に参加する児童が増えるなど、少しずつ意識が高まっていく実感をもつことができた。キャンペーン期間中は、月（5年）火（1・6年）水（2年）木（3年）金（4年）の順で学年ごとに朝あいさつ運動に取り組んだ。校門や靴箱付近に並んで大きな声であいさつができていた。休み時間にはいたる所でえしゃくをする児童を見かけることができ、あらためて全校が同じ意識をもって取り組むことの効果を感じることができた。キャンペーン期間後、児童の感想には、「朝からあいさつをすると気持ち良かった。」「えしゃくもあいさつということが分かった。」などがあった。

成果

生活委員会だけではなく、児童会や代表委員会にも広がっていったことで、自主的なあいさつ運動もますます活性化してきて今後の展開が楽しみである。全校生が朝のあいさつ運動に参加する機会をもったことで、同じ意識をもってキャンペーン期間を過ごすことができたことも良かった。「活躍できる場」「人とつながる喜びを味わう場」がある実践にすることができたことは良かった。廊下歩行も会釈を取り入れたことで、以前よりも走る児童が少なくなったという実感をもつことができた。

来年度は、今年度の反省をふまえ、「あいさつ強調月間」を作り、年間を通してあいさつ運動を盛り上げていくなど、今後よき伝統として木太南小に残っていくように取り組みを継続・充実させていきたい。